

みなみあいづ

 議会だより

第50号

平成30年10月24日



- 9月定例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23頁～
平成29年度の決算・議案審議
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9頁～
10人の議員が町政を問う
- 議会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20頁～
- 委員会活動報告・第2回臨時会・・・・・・ 21頁～
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23頁～
- 町民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24頁～

今日も元気に走るよ！

暁の星幼稚園

→23頁に幼稚園の紹介

平成29年度の 決算を認定



決算のあらまし

平成28年度と比較

【歳入】

南郷総合センター整備や観光施設整備などの大規模事業実施に伴う地方債が35・6%増、繰越金が38・7%増となりました。

一方で、庁舎建設事業や公共施設整備事業に伴う繰入金、65・5%減、地方交付税が6・6%減、国庫支出金が6・6%減、県支出金が19・0%減となりました。

【歳出】

投資的経費は、関東・東北豪雨災害復旧事業が概ね完了し、災害復旧事業費は減少しましたが、庁舎建設事業などの大規模事業の実施により、全体で6・7%増加しました。

義務的経費は、臨時福祉給付金事業終了に伴う扶助費の減少により2・8%の減、その他の経費は、物件費は増加しましたが、維持補修費などの減少により、4・9%の減となりました。

【地方債】

地方公共団体が財政上必要とする資金を外部（国や銀行）から調達することによって負担する債務で、その履行が一般会計年度を超えて行われるもの

【投資的経費】

支出の効果が資本形成に向けられ、将来に残る施設建設などに充てる経費

【義務的経費】

支出が制度的に義務づけられている経費（人件費・扶助費・公債費）

平成30年第3回定例会が、9月7日から14日までの8日間の会期で開催され、町から条例の制定・改正2件、平成29年度決算認定7件、平成30年度補正予算4件、その他の議案や報告など7件が提出されました。

また、議会から委員会提出議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。



決算審査の意見

行財政改革のさらなる推進を

自主財源である町税（町民税・固定資産税・軽自動車税）の未納額が依然発生しており、前年度と比較すると増加となりました。

国民健康保険税の未納額は、前年度と比較すると減少しており、6年連続の減少となり、税務担当職員の真摯な取り組みの成果であると評価できます。

使用料などの未納額は、保育料や町営住宅使用料は前年度と比較して減少している一方で、下水道使用料や水道事業会計を含めた水道使用料は、増加しておりますので、今後も町民負担の公平性の確保と受益者負担の原則から、未納対策などの収納率向上に格段の努力が必要です。



木下光廣 代表監査委員

平成29年度の財政指数は、健全財政に向けた改善のあとが見られますが、今後も普通交付税など一般財源の減少や人口減少で、財政の見通しがますます厳しくなることから、行財政改革のさらなる推進が必要です。

限られた財源の効率的・効果的な活用を念頭に置き、町民の立場に立った安全で安心して暮らせる町の実現に向け、第2次南会津町振興計画の目標達成に向かって努力されることを期待します。

平成29年度 一般会計決算

歳入総額
144億2,810万円

歳出総額
139億8,931万円

1000分の1に
置き換えてみると・・・

町の家計簿

— 収 入 —		— 支 出 —	
(前年度との対比額)		(前年度との対比額)	
給料 【町税】	158万円 (－4万円)	食費 【人件費】	195万円 (同額)
パート収入 【負担金・使用料・手数料など】	16万円 (－1万円)	水道光熱費・日用品の購入 【物件費・補助費など】	373万円 (25万円)
親からの仕送り 【地方交付税・国県支出金など】	918万円 (－74万円)	養育費・医療費など 【扶助費】	95万円 (－11万円)
金融機関からの借り入れ 【町債】	179万円 (47万円)	車の修理代など 【維持補修費】	65万円 (－3万円)
その他の収入・貯金引出 【寄附金・繰入金・繰越金・諸収入】	168万円 (－43万円)	子どもへの仕送り 【他会計への繰出金】	104万円 (－13万円)
不動産収入 【財産収入】	3万円 (－1万円)	貯金 【積立金】	18万円 (－38万円)
1年間の収入合計	1,442万円 (－76万円)	生命保険など 【投資・出資・貸付金】	7万円 (－1万円)
		家屋の増改築など 【普通建設事業費】	305万円 (69万円)
		被害箇所の修理 【災害復旧事業費】	79万円 (－45万円)
		借金の返済 【公債費】	157万円 (－2万円)
		1年間の支出合計	1,398万円 (－19万円)
貯金残高は 718万円 (－22万円)		借金の返済残高は 2,182万円 (－33万円)	

貯金残高および借金の返済残高には、特別会計を含んでいます。

町の家計は大丈夫？

親からの仕送りが頼り

前年度と比較して、収入が5.0%、支出が1.3%減少しました。支出では、被害箇所の修理（災害復旧事業費）は落ち着いてきたものの、水道光熱費・日用品（物件費・補助費等）や家屋の増改築など（普通建設事業費）で出費が増えたため、貯金（積立金）を減らし、支出の圧縮に努めました。

収入では、町が自由に使える財源給料（町税）が若干減少し、全体の11%となっています。一方で、親からの仕送り（地方交付税・国県支出金など）は、全体の60%を占めています。

町の家計をみると、まだまだ親からの仕送りがないと成り立たない状況ですが、それでも堅実なやりくり（行財政運営）を行うことで、収入と支出のバランスをとっています。今後は、これまで以上に事業の再検証や取捨選択を行い、経費節減に努めていく必要があります。

平成29年度特別会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差引	
国民健康保険特別会計	21億5,285万円	21億4,484万円	801万円	
後期高齢者医療特別会計	2億1,701万円	2億1,620万円	81万円	
介護保険特別会計	22億514万円	21億6,808万円	3,706万円	
農林業集落排水事業特別会計	1億5,815万円	1億5,023万円	792万円	
公共下水道事業特別会計	4億1,497万円	3億7,194万円	4,303万円	
企業会計		収入	支出	差引
水道事業会計	収益的収支	6億5,782万円	5億6,485万円	9,297万円
	資本的収支	7億5,813万円	9億5,077万円	-1億9,264万円

主な財政指数

項目	平成29年度	平成28年度	解説
財政力指数 (3力年平均)	0.227	0.229	町の仕事に必要な経費をどのくらい自力で賄えるかを表す数値で、「1」に近いほど財政力が高い。
標準財政規模	83億4,622万円	86億9,589万円	町の標準的の仕事に必要な経費の額
経常収支比率	89.7	85.9	町税や地方交付税などの収入が、経常的な支出（給与・借金返済など）にどのくらい使われたかを示す数値で、小さいほど自由に使えるお金が多い。
実質公債費比率 (3力年平均)	5.3	5.2	標準財政規模に対する借金返済の割合で、18%を超えると、新たに借金をするときに許可が必要になるなど制限が付く。
将来負担比率	23.3	19.8	将来負担しなければならない借金などが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを表す数値

年度別各種税金・使用料等未納累計額

年度	町税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料	保育料	町営住宅使用料	農林業集落排水使用料	公共下水道使用料等	簡易水道使用料	水道使用料等
27	1億7,813万円	1億2,399万円	273万円	1,231万円	459万円	2,661万円	891万円	1,335万円	5,294万円	3,271万円
28	1億2,778万円	1億1,371万円	321万円	1,274万円	381万円	2,442万円	885万円	1,375万円	5,602万円	3,460万円
29	1億3,199万円	1億1,205万円	325万円	1,307万円	343万円	2,244万円	907万円	1,361万円		9,193万円※

※簡易水道事業と水道事業は、平成29年度から統合されたため、合算した数字になります。

2件の工事契約を可決

議案第69号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
社会資本整備総合交付金事業
町道大新田1号線南郷橋下部工工事
- ◆ 工事内容
橋梁下部工 N=1基、護岸工 一式
- ◆ 請負金額 7,322万4千円
- ◆ 工事場所 大橋字船場内
- ◆ 契約の相手方
南総建株式会社

議案第68号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
社会資本整備総合交付金事業
町道向山1号線道路改良工事
- ◆ 工事内容
道路改良工 一式
- ◆ 請負金額 8,370万円
- ◆ 工事場所 宮里字向山地内
- ◆ 契約の相手方
株式会社館岩工務所

- ◆ 財産の種類
不動産（土地、建物および工作物）
- ◆ 所在など
南会津町高杖原・八総地区内
土地 20筆（総地籍）
23万9,923.77㎡
建物 13棟（総延床面積）
1万2,930.57㎡
工作物 22件（リフト、夜間照明など）
- ◆ 取得金額 4億1,953万8,400円
- ◆ 契約方法 随意契約
- ◆ 契約の相手方
会津高原リゾート株式会社

議案第70号

たかつえススキー場の財産取得

会津高原リゾート株式会社が保有するたかつえススキー場の土地・建物および工作物を町有化するため、条例の規定に基づき、議会の議決を得て財産の取得を行うものです。

地域経済の活性化と安定的な雇用の場の提供を目的としており、議会ではその必要性について議論を重ねてきました。

今後は、ススキー場をはじめとする観光施設に関わる第3セクターの統合に向けて協議を進め、組織強化を行い、安定的な経営を目指します。

議案第71号〜第77号

平成29年度各種会計決算

未収入額の収納計画は

問

歳入のうち、未収入額が4億6030万円となっているが、今後の収納計画は。

答

町税、使用料および手数料、介護保険料、後期高齢者保険料など、依然として未納がある状態であり、監査

不用額の理由は

問

歳入のうち、教育費が約1千万円の不用額となった理由は。

答

小・中学校11校分の光熱水費や維持管理費など、年度未までつかめない部分があるため、不用残が多く生じているのが現状です。

オートキャンプ場の必要性は

問

小豆温泉せせらぎオートキャンプ場は、平成28年4月1日から営業を停止しているが、現状はどうなっているか。

答

平成27年度に指定管理者の公募を行いました。業者から辞退され、その後は、直営で草刈りなどの維持管理のみを行っています。



平成28年度から営業を停止している小豆温泉せせらぎオートキャンプ場

問

今後の必要性を検討すべきでは。

答

来年度に向けて、再度指定管理者の公募の手続きを行い、状況を見極めていきます。

その結果を踏まえ、公共施設等管理計画の個別計画策定部会の中で、必要性を検討していきます。

木材チップ機械の更新は

問

町では、平成22年度に木材チップ加工用の機械を導入しました。8年が経過し、現在では、加工されるチップの品質もあまり良くないとのことですが、更新の考えは。

答

町では、平成22年度に木材チップ加工用の機械を導入しました。8年が経過し、現在では、加工されるチップの品質もあまり良くないとのことですが、更新の考えは。

森林組合がチップ加工を行っています。町内のチップボイラ施設への供給が主であり、チップそのものの品質もあまり良くないことから、消費拡大につながっていないのが課題となっています。よりよい生産性を確保するため、今後検討します。



木材チップ加工のようす

水道管の更新は

問

水道管の老朽化が進んでいると思われるが、今後どのくらい更新の工事を計画しているか。

答

石綿管を含む老朽化に伴う水道管の敷設計画は、延長で11キロメートルを予定しており、工事費は約7億1千万円を見込んでいます。

国の補助事業を活用しながら、計画的な更新工事を行っています。

9月定例会の議案審議では69件の質疑がありました。

紙面の都合上、議会だよりでは一部のみ掲載しております。

また、本会議の様子はインターネット（You Tube）で見ることができます。
【<http://www.minamiaizu.org/gikai/>】

南会津町議会中継

検索



議案第82号

会津高原スキー場条例の改正

会津高原リゾート株式会社から取得する不動産のうち、宿泊施設（会津アストリアホテル・会津アストリアロッジ）が含まれています。

指定管理者による業務を予定していることから、利用料金などの取り扱いを定めるため、条例の一部を改正するものです。

問

通常であれば、町に施設ができるたびに、施設に関連する設置条例を個別に定めてきましたが、既存の会津高原スキー場条例の中で、原スキー場条例の中の改正とする理由は。

答

これまで会津高原リゾート株式会社が運営してきた宿泊施設を新たに町有化して、指定管理をしていく中で、スキー場に関連する施設として宿泊施設を追加する考え方で整理しました。

今後の運用はこの条例の範囲で行っていきたいと考えます。

議案第83号

監査委員の選任

湯田良一氏の選任案に同意

平成30年8月10日に湯田哲氏が監査委員を辞職したことに伴う後任の選任案が提出され、審議の結果、全会一致で同意されました。

湯田良一氏から、「町民各位の信頼を損ねることのないよう、行財政運営の効率化、予算執行における公正の確保などに向け、しっかりと監査業務を務めてまいります」と就任のあいさつがありました。

さらなる監査体制の充実が期待されます。



湯田良一監査委員

総務委員会提出議案

国へ意見書を提出

採択

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療・介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行やマイナンバー制度への対応、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

一方、地方公務員をはじめとした公的サービスを担う人材が限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があります。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財源面を担保するのが地方財政計画の役割ですが、財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、結果として不可欠なサービスが削減されれば、本末転倒であり、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要であることから、地方財政の充実・強化を強く求めます。

（一部抜粋）

一般質問

10人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

- 1 湯田 哲 議員・・・10分**
 - ①「触れ合いまちなか活性化事業実施計画」の早期実現を
 - ②空き店舗で「いつでも文化祭」、まちなかに賑わいを
 - ③展望台と呼べる場所の整備を
 - ④学校等施設の契約電力を見直し経費削減を
- 2 大桃 英樹 議員・・・11分**
 - ①女性が働きやすい環境づくりを
 - ②新庁舎建設事業の検証は
- 3 渡部 訓正 議員・・・12分**
 - ①木造公共施設「木の町コミュニティ館（仮称）」整備は
 - ②会津山村道場と周辺施設の利活用
- 4 森 秀一 議員・・・13分**
 - ①防災ハザードマップの活用は
 - ②豪雨等の防災対策は
- 5 湯田 良一 議員・・・14分**
 - ①小・中学校にエアコンの設置を
- 6 山内 政 議員・・・15分**
 - ①婦人消防隊の現状と課題は
 - ②2019年度の役場職員の新規採用と再任用は
- 7 室井 嘉吉 議員・・・16分**
 - ①放射線監視装置（モニタリングポスト）は
 - ②今後のスキー場の管理運営は
- 8 丸山 陽子 議員・・・17分**
 - ①ヤマザクラ植栽地を憩いの場に
 - ②通学路の安全対策を
- 9 星 登志一 議員・・・18分**
 - ①林業による雇用対策
 - ②合併特例債の現状と計画
- 10 楠 正次 議員・・・19分**
 - ①野生鳥獣の処理
 - ②健康づくり

平成30年9月定例会の一般質問は、12～13日の2日間にわたり行われました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



『活性あるまちなか』の早期実現を

町長＝中心市街地の活性化に取り組む

問

町議会では、南会津町商工会事務局長を講師に、「触れ合いまちなか活性化事業実施計画書」についての研修会を実施しました。

これまで、何度も出されてきたこの計画を早期実現し、観光客や交流人口を増加させ「活性あるまちなか」にするのは今だと考えるが。

町長

中心市街地の活性化は、行政主導だけでなく、地元商工業者や関係団体などが協働して取り組むことが肝要であり、町の予算状況も深く関係しています。

今後は中心市街地を「魅力あるまちなか」にするため、この計画書に基づく事業の実施を検討しながら、地元商工業者の主体的な取り組みにつながるよう、商工会や関係団体などと連携して、賑わいのあるまちづくりと中心市街地の活性化に取り組みます。



商工会が中心となって開催された南会津町商工業まつりのようす
(平成30年9月23日 南会津ふるさと物産館駐車場)

愛宕山を展望台に

町長＝現時点では考えていない

問

会津田島駅から一番近い愛宕山山頂は、展望台として町の観光パンフレットに紹介されています。

町長

愛宕山は、福島県指定史跡鳴山城跡であり、史跡内の伐採には所有者の同意の他に、史跡の保存に影響を及ぼすため、県文化財保護条例の現状変更申請が必要です。

現在は、頂上付近の立木が大きく育ち視界が良くありません。

木を伐採し展望台としてふさわしい場所に整備すれば、大きな観光の名所になるのでは。

前沢曲家集落のように見る対象が明確な場合は、効果があると思いますが、愛宕山については、単に街並みを見せるといった理由では、観光客のニーズや費用対効果の面で現時点において整備する考えはありません。

その他の質問

- ・空き店舗で「いつでも文化祭」、まちなかに賑わいを
- ・学校等施設の契約電力を見直し経費削減を



女性が活躍できる町づくりを

町長＝意識啓蒙や職場環境の整備を推進

問

女性が働きやすい職場環境を作っていくことは、住みやすいまちづくりの実現につながると考えます。

町職員の女性の割合と男性職員の育児休業取得率は、

町長

平成30年4月現在で三役を含む全職員数が

平成30年4月現在で三

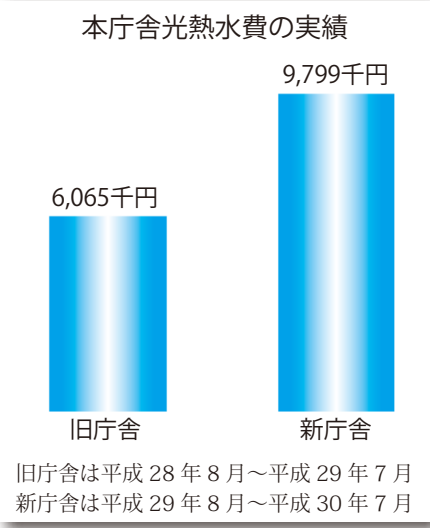
南会津町における女性職員の推進に関する特定事業主行動計画」を定め、数値目標などを示し、職員の意識啓蒙や職場環境の整備などを進めます。

247人で、うち女性職員は65人で、26・32%です。男性職員の育児休業取得はありません。なお、本町では「南会津町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」を定め、数値目標などを示し、職員の意識啓蒙や職場環境の整備などを進めます。

用語

※南会津町における女性職員の推進に関する特定事業主行動計画

国が定める「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、女性職員の活躍を推進するため、数値目標などを定めた計画。



新庁舎建設事業の検証は

町長＝若手中心の検討委員会を設置し協議

問

新庁舎の電気料や灯油代など、ランニングコストの変化は。

町長

旧庁舎では電気、灯油、ガスの3つの資源を利用していました。新庁舎では地中熱や太陽光などの自然エネルギーを利用しコストの削減に努めています。

旧庁舎の最終年と新庁舎の光熱水費の比較は上表のとおりです。単純に比較すると1・6倍になりますが、延べ床面積は2倍となっており、また地中熱を利用したエアコンの設置により快適な執務環境となつています。

問

協働スペースの活用と新たな取り組みは。

町長

1階の多目的ホールや町民ラウンジなどを町内各種団体等に貸し出しを行い、13件1175人の利用があ

りました。今後活用をさらに促進するため、若手職員中心の本庁舎施設管理運営検討委員会を設置し、利用促進に関する取り組みを協議し、より多くの町民が利用できる庁舎を目指します。



新庁舎開庁記念ミニコンサートのようす (平成30年3月20日)



木造公共施設建設の具体化は

町長＝平成31年度着手を想定



南会津アロマ祭りのようす
(平成30年8月26日御蔵入交流館)

問

木の町コミ
ユニティ館
(仮称)の、計画期間
は平成33年度末までで
すが、今後の整備計画
は。

町長

木の町南
会津地域
蘇生プロジェクトの拠
点施設として、平成31
年度着手を想定してい
ます。
林業事業者で構成す
る分科会で施設に求め
る意見集約、役場内
でも建設候補地や維持な
どの検討を進めていま
す。
計画期間内の竣工を
目指します。

会津山村道場と周辺施設の利活用を

町長＝両施設と連携しPRに努める

問

会津山村道場
にはキャンプ
場、宿泊施設のコテ
ジ、体育館があり、周
辺施設には奥会津博物
館、古民家、山王茶屋
があります。
これらの過去3年間
の入込客数は。

問

山王茶屋の営
業日を変更し
た理由は。
また、誘客の方法は。

するなど連携していま
す。
店などにパンフレット
を置いていただくなど
誘客活動を行っていま
す。

町長

下表のとおりです。

問

利活用推進に
向けた連携は。

町長

会津山村道
場の宿泊客
に対し、奥会津博物館
の企画展や藍染体験等
をPRし、奥会津博
物館の利用増につなげ
ています。

町長

平成29年度
実績は年間
3919人です。

平日の営業日数
197日間では、15
94人で、1日平均約
8人と非常に少ない状
況のため、平成30年度
から週末の土日と祝日
のみ営業し、11月中旬
から3月末まで冬季休
業としました。
ホームページやポス
ター・パンフレットな
どを配布し、町内3ヶ
所に大型看板を設置し
ています。
また、県外スポーツ

会津山村道場・奥会津博物館入込客数

年度	会津山村道場	奥会津博物館
平成27年度	9,445人	9,093人
平成28年度	7,609人	9,145人
平成29年度	5,895人	8,098人

町政を問う 一般質問



ハザードマップの活用は

町長=集落単位に作成して周知

問 土砂災害危険個所の施設整備状況は。

町長 砂防ダムや治山ダムなど、ハードな施設整備は福島県に要望し、福島県が実施しております。

問 ハザードマップの周知と住民の理解は。

町長 全戸配布のうち、町のホームページにも掲載しています。

今後は、よりわかりやすく集落単位に作成し、広報紙などを通して周知に努めます。

問 自主防災組織の整備と訓練などの状況は。

町長 防災組織は54の地区で立ち上げています。

また、防災訓練などの状況は、集落応援交付金事業により、地区

独自に取り組んでいます。災害発生時は、「共助」の力が必要であり、自主防災組織の育成に取り組んでいきます。



町消防団による水防訓練のようす（平成30年8月5日田島地域）

豪雨などの防災対策は
問 町長=町長 災害発生時の対策は。

町長 町の建設業2団体

や町消防団との間で『災害時における応急活動の協力に関する協定』を締結しています。

問 避難指示などの周知方法は。

町長 現在「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の策定に向け、詰めの作業を行っています。

防災広報無線のほか、広報車による巡回、地区への直接伝達フェイスブックの掲載など、幅広い媒体により周知します。

問 避難施設の整備状況は。

町長 集会所や公

共施設など127カ所を指定しています。

また、高齢者や乳幼児、身体障がい者など「要配慮者」のため、福祉避難所として6ヶ所を指定しています。

問 食料・生活物資の備蓄及び調達は。

町長 お湯で作れる御飯など、食料や飲料水、毛布などを配備しています。

日用品は地元メーカーと供給などの協定を締結しています。



小・中学校にエアコン設置を

教育長＝対策方針を検討

問

近年、異常気象による猛暑日が続いていますが、学校の教室にはエアコンの設置はされていらないと思います。

暑い日が続いても児童生徒たちが安心して学校生活に集中できる環境整備が重要と考えます。

熱中症の疑いのある児童生徒はいましたか。

教育長

平成30年6月1日から

9月4日まで小学校で8人、中学校で16人です。

問

現在、小・中学校のエアコンの設置状況は。

教育長

小学校7校で、^{※1}普通

教室に1台、特別教室に5台、中学校4校で、普通教室に0台、特別教室に7台となっています。

問

今後、エアコンの設置計画はあるか。

教育長

現時点では、エアコン

を設置する計画はありませんが、国では、教室へのエアコン導入に向けて十分な予算を確保するという報道もありますので、引き続き情報収集に努め、国の補助制度を確認するなど、町の対策方針について、検討を進めていきます。

用語

^{※1}普通教室と特別教室

普通教室は、通常の授業を受けるための教室で、特別教室は、教科別、用途別に用意される教室（理科室や音楽室など）で、小・中学校は主にこの2種類に分類される。



なお、熱中症は、気温、湿度などの環境条件に配慮した運動や、こまめに水分や塩分を補給し休憩をとること、児童生徒などへの健康観察など健康管理を徹底することによって十分防ぐことが可能とされています。

各小・中学校へ周知し、適切に対応していきます。



婦人消防隊の現状と課題

町長=在り方について今後検討

婦人消防隊年齢構成

地域	平均年齢
田島地域	67.9 歳
館岩地域	56.9 歳
伊南地域	59.7 歳
南郷地域	54.8 歳

町長 婦人消防隊の方が検閲式などに参加し、万が一事故が発生した場合、「防火防災訓練災

問 婦人消防隊活動に対する公的な補償はどのようになっているか。

町長 各地域の婦人隊員の平均年齢は、左表のとおりです。

問 4地域の婦人消防隊の年齢構成は。



消防団検閲式での婦人消防隊のようす

町長 若い世代の方に参加していただくために、組

問 今後若い世代を婦人消防隊の活動に参加させるための環境づくりや、4地域の婦人消防隊の編成は現状でいいのか。

害補償等共済制度」で補償されます。

織の抜本的見直しを含めた協議、検討が必要です。
町消防団の中に女性消防団員として参加いただくことも考えられます。
今後、婦人消防隊や町消防団、関係者と話し合い検討してまいります。

問 新規採用による雇用の確保と町内活性化と再任用による人材活用のは。

職員の新規採用と再任用は

町長=バランスのとれた任用に努める

町長 新規採用者は町の将来を担うもので、若者定住による地域活性化が期待されます。
再任用者は長年の行政経験を、若手職員の育成や町発展に貢献していただきたいと思えます。

このようなことから、新規採用と再任用のバランスのとれた任用に努めます。



モニタリングポストの撤去反対の立場を

町長＝住民説明会の結果などを踏まえ慎重に判断

問

東京電力福島第一原発事故により、本町内、39カ所に設置されている固定式の放射線監視装置（モニタリングポスト）について原子力規制委員会は、撤去の方針を掲げているが町の考えは。

町長

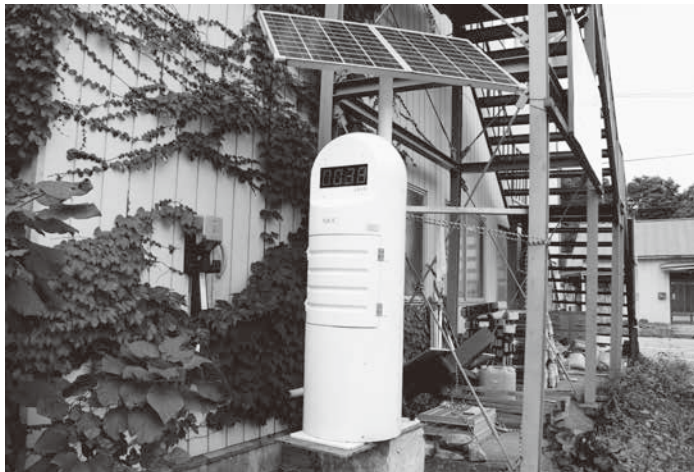
原発事故が収束しておらず、使用済み燃料の取り出しなど、今後の廃炉工程についても、新たな不安の可能性もあることから、町民の安全・安心を最優先し、慎重に対応します。

問

原発事故の影響が県内でも一番少ない本町において、事故から7年経過した今日でも風評被害が続いています。今も払拭に向けた対策が取られる中で、モニタリングポストの撤去に反対の立場で関係機関に働きかけをすべきでは。

町長

原子力規制委員会に住民説明会の実施を要望しています。モニタリングポストの取り扱いは、町民の安全・安心を最優先に、最終的には住民説明会の結果や近隣町村の動向を踏まえ、議員各位とも協議し、慎重に判断したいと考えています。



駐車場整備で移設されている役場本庁舎設置のモニタリングポスト

4 スキー場 一体で指定管理を

町長＝公募を原則に指定管理者を選定

問

会津高原リ조트（株）所有の不動産が買取りにより、町所有となります。

これにより、町内4スキー場を一体管理運営できる利点を活かした経営（**指定管理**）をすべきでは。

に、町の意向も反映し地域発展に尽力する指定管理者を選定したいと考えています。

問

今後のスキー場経営計画を策定する第三者委員会を立ち上げては。

町長

現在の指定管理期間終了後も公募を原則に、雇用の確保や地域経済への波及効果を第一

町長

第三者委員会の立ち上げは、現在は考えておりません。

用語

※1 指定管理者制度

地方公共団体やその外郭団体が管理運営していた施設を、営利企業、財団法人、NPO法人、市民グループなどの法人や団体に包括的に代行させることができる制度。



ヤマザクラ植栽地を憩いの場に

町長＝効果的な施設の整備について検討

問

本町の豊かな自然を未来につなぐため、ヤマザクラ一万本の里づくり事業を進めています。ヤマザクラの咲く季節に、植栽地を訪れる方々が憩える場として、休憩できる場所を造ってはどうか。

町長

植栽したエリアには憩いの場として、子供からお年寄りまで多くの町民の方々に、ヤマザクラの名所として県内外から観光客などが訪れるものと推察します。このようなことから、訪れる方々が休憩できる施設などが必要になってくるものと思われまます。今後、地域の方々や関係機関・団体などの意見を聞きながら、より効果的な施設の整備について検討します。



第1回ヤマザクラ1万本の里づくり記念植樹祭のようす
(平成29年11月5日 会津山村道場で開催)

学校・通学路の安全対策を

教育長＝2年毎に通学路の合同点検を実施

問

本年、6月に発生した大阪北部を中心とした地震で、登校中の女子児童がブロック塀の下敷きになるとい痛ましい事故が起きました。通学路上のブロック塀、道路の老朽化による水撥ねや消えかけた横断歩道など、通学路上の危険個所の総点検を行い、児童が安心して登下校できる環境整備が必要と考えるがどうか。

教育長

教育委員会で、平成26年度に策定した「南会津町通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の合同点検を2年毎に夏期・冬期を交互に実施しています。なお、本年度は、6月に大阪府で発生した地震によりブロック塀が倒壊し、女子児童が亡くなるという痛ましい事故を受けて、通学路のブロック塀を対象とした「緊急個所調査」も実施し、児童生徒の登下校の安全確保に努めています。



林業の活性化対策は

町長＝実習林の活用や県森林環境税の延長を提案する

問

文部科学省は、2019年度から公立学校を中

心に、地域を支えていく人材を育成するモデル事業を始める方針を決めたことから、林業に関する期待感はますます強くなると思われます。

町長

約3000haの広大な面積の実習林は、学校周辺を除き、ほとんど管理・利用はされておらず、今後、管理・利用などの考えは無いとのこと。

町として、林業の活性化や地域の発展につながるような提案を促していきます。

問

町として県の森林環境税延長の考えは。

町長

平成32年度以降は、県民アンケートや59市町村の意見を踏まえ、県森林審議会に諮問し、答申を県地方税制等検討会で議論され、導入が決定されます。

町は、平成35年度までの延長を要望します。

問

林業従事者の雇用状況の変化は。

町長

町内の従事者数は、平成28年度末230人で、前年度から11人の増加で、主な増加業種は製材・加工業です。

農林漁業の平成29年度の求人件数53件に対し、就案件数は23件です。

問

素材確保と利用推進PR策は。

町長

素材確保は、台鞍スキー場でサテライト木材市を、年2回開催し、定着しています。

町内の素材生産者と加工業者を最短で結ぶため、林業成長産業化推進会議で効果的な仕組みづくりを検討しています。

利用推進については、公共施設に可能な限り町産材を使用してアピールしています。本年度から町産材使用新築住宅等支援事業を設けました。



台鞍スキー場を利用したサテライト木材市

その他の質問

・合併特例債の現状と今後の計画は



イノシシ・シカの処理・処分を安全に

町長＝南会津地方にあった処分施設を検討

問 野生動物の食害などが増加しており、県や町で捕獲報奨金の制度を創り、被害防除に取り組んでいます。過去3年間で、イノシシ・シカ・サル・クマの捕獲実績は。

町長 下表のとおりです。

問 捕獲された大型獣の放射性セシウムが食品衛生基準値を超えた個体の有無は。

町長 町の簡易検査では平成24年度から29年度までに26件の野生動物の肉などを検査していますが、基準値超はシカ肉1件だけです。

野生鳥獣の捕獲実績

年度	イノシシ	ニホンジカ	サル	クマ
平成27年度	29頭	106頭	75頭	14頭
平成28年度	175頭	342頭	114頭	29頭
平成29年度	95頭	326頭	96頭	16頭

問 今後の処理・処分の考え方は。

町長 県に野生鳥獣処分の単独施設建設を要望していますが、焼却施設が

良いのか、解体加工施設と併設が良いのか関係機関と協議しています。

当地方にあった処分施設設置の検討をしていきます。

啓発型健診で健康長寿の町を

町長＝検証結果を調査研究

問 本町の未治療者に対する取り組みは。

町長 健康に対する意識を高め、健康診査を受けて自身の健康状態を知っていただくことが重要です。

要精検となった方には電話や面談で受診を勧め、さらに個々の症状に合わせ、面談で保健指導を行ない、確実に医療機関につなげます。

問 従来の一般的な健診は結果通知まで時間がかかり、問題があっても指導・治療につなげにくい欠点がありました。

弘前大学の中路教授が推奨する健診当日に医師の個別指導や健康教育プログラムを受け、健康長寿につなげることが出来る啓発型健診に取り組むべきです。

町長 受診後2時間程度で、結果数値に基づき改善指導を受ける効果的な仕組みと聞いています。今後の検証結果を待って調査研究をします。

福島県立田島高等学校と
南会津高等学校の存続に向けて

平成30年8月10日に、平成30年度県立

(田島・南会津)高等学校振興連絡協議会(以下、協議会)総会が開催されました。

協議会総会の前に、福島県教育委員会が今年度策定する「県立高等学校改革基本計画(2019年度〜2028年度)」の中に、県立高等学校の統廃合計画が盛り込まれることから、県教育庁県立高校改革監の岡崎拓哉氏を講師に迎え、「県立高等学校改革の基本方針とその対応について」講演を受けました。

質疑応答で、同一町村内にある規模の小さい(3〜4学級以下)学校は統合対象とされ、この対象に田島・南会津両高校が該当す

講演会終了後、田島・

南会津両高等学校別に振興協議会総会が開催されました。

4町村が合併した南会津町は、いわき市に次ぐ広大な面積を有し、峠を越えての通学など厳しい環境にあるため、田島・南会津両高等学校の存続は必要であることを訴えました。



福島県立田島高等学校



福島県立南会津高等学校

南会津地方広域市町村圏組合議会定例会
新消防庁舎建設について

平成30年8月20日に、平成30年度第2回

南会津広域市町村圏組合議会定例会と、全員協議会が開催されました。

定例会は、平成29年度的一般会計決算認定をはじめ、関連の特別会計決算認定議案4件

案があり、原案のとおり可決されました。

定例会終了後に、全員協議会が開催され、今年7月から着工されている新消防庁舎建設(場所は現消防庁舎)の進捗状況の報告がありました。

議案5件と監査報告は、原案のとおり決定承認されました。また、平成30年度一般会計補正予算と特別会計補正予算1件、工事請負契約の締結の提



建て替えが行われる
南会津地方広域市町村圏組合消防本部消防署

総務委員会

員田美郎・菅家幸弘・室井英雄
湯田哲・山内政・五十嵐司

町出資法人の経営状況を調査

町が出資している法人などのうち、その出資を受けている額が2分の1以上を町が占めている場合、議会に対し、その経営状況などを事業年度ごとに報告する義務があります。

総務委員会では、町から報告を受けた法人の経営状況を調査しました。

今回は、公益財団法人南会津町振興公社（以下、公社）の経営状況の一部（経常収益のみ）を掲載します。

公社は、町より各委託事業の運営費補助を受け、生涯学習事業、健康教室、観光事業などの運営を行っています。

公社の果たす役割は年々大きくなっているため、運営経費も増加

傾向にありますが、職員の果たす役割も増え、負担になりつつあります。

今後は、職員数や各種事業などの見直しを行い、さらなる経営管理・運営の努力を期待します。



公益財団法人南会津町振興公社

公益財団法人 南会津町振興公社 平成 29 年度経常収益内訳

科目		決算額 (単位：千円)	所管課	内容
受託事業 収入	体育協会	770	教育委員会生涯学習課	各種スポーツ大会・教室等の事業
	グラウンド整備	1,258	教育委員会生涯学習課	各小・中学校等グラウンド整備
	郡体育協会	1,200	郡体育協会	郡体育協会事務局受託料
	太極拳	284	健康福祉課	健康太極拳講習会等
	体操関係	961	健康福祉課	健康体操等
	観光物産協会	5,450	商工観光課	観光物産協会等の事業
	風評被害対策	8,329	商工観光課	緊急雇用対策（人件費）
	スキー場	2,310	みなみやま観光	だいくらスキー場パトロール等
	合計	20,562		
施設管理 受託収入	運動公園	14,148	教育委員会生涯学習課	施設管理
	武道館	607	教育委員会生涯学習課	
	伝習館	463	商工観光課	
	高齢者センター	3,570	健康福祉課	
	交流センター	2,199	健康福祉課	
	しらかば公園	1,905	館岩総合支所町民課	
	館岩会館	850	館岩総合支所町民課	
	伊南会館	3,311	伊南総合支所町民課	
	南郷センター	1,099	南郷総合支所町民課	
	町民グラウンド	414	教育委員会分室	
	合計	28,566		
町補助金	110,491	総合政策課	職員の給料等	
施設利用料収入	2,795		各施設利用料	
公益事業収入	78		高齢者の生活環境整備事業	
物販事業収入	2,042		各種イベント・運動公園内販売等	
雑収益	1,292			
利息	3			
経常収益総合計	165,829			

文教厚生委員会

楠正次・大桃英樹・渡部訓正
高野精一・星啓志・室井嘉吉

田島中学校・検沢小学校を訪問

文教厚生委員会は、平成30年10月4日に、田島中学校と検沢小学校を訪問し、授業のようすを視察後、学校長と懇談し、意見交換を行いました。

「道徳」教科の新たな評価

中学校は次年度から道徳が教科となりますが、小学校は今年度から教科となりました。

道徳（生き方）を評価する事が可能か、授業や評価の仕方などを調査しました。

これまで学校がそれぞれ副読本を使用していました。が教科化となり会津地方の学校は同一の教科書を使います。

評価の方法は、授業での理解度や他の見



検沢小学校での懇談の様子

児童・生徒の考え方を理解できるか、その考え方に對して自分の意見を言うことができるか、自己の考えをまとめ、文章記述できるかなどを担当の先生が判断をします。その評価は、数値化ではなく文章での記述評価をするので、先生の負担は増すことが想定されます。

上級生は下の学年の学びが目や耳から入り、授業の振り返りができるといふメリットがあります。先生は2学年分の授業準備が必要で負担増となります。児童にとつての負担はさほどないようです。意見交換での要望として、学校周囲樹木の整備、除雪体制の充実などが出されました。今後、委員会として調査していきます。

複式学級と課題

検沢小学校は、現在3・4年生と5・6年生が複式学級ですが、複式のクラスでは低学年は上級生の行動を間近に見ることでお手本になります。

第2回臨時会

平成30年7月24日

議案審議

議案第64号 【物品購入契約】

- ◆ 契約の目的
建設機械購入
- ◆ 契約の物件
除雪ドーザ 1台
規格型式 14 t 級車輪式
第4次排出ガス規制対策型
本体コマツ製WA270-8Y
- ◆ 請負金額 2,116万8千円
- ◆ 契約の相手方
コマツ福島株式会社 会津支店

議案第63号 【工事請負契約】

- ◆ 工事名
伊南学校給食センター建設事業
厨房機器設置工事
- ◆ 工事内容
厨房機器設置工事 一式
- ◆ 請負金額 8,748万円
- ◆ 工事場所 古町字新坂口地内
- ◆ 契約の相手方
会津ガス株式会社 田島営業所

2件の契約案件を可決

町からは、議案4件（工事請負契約議案1件、物品購入契約1件、損害賠償の額の決定及び和解2件）が提出され、慎重な審議が行われました。

【会議録がインターネットで閲覧できるようになりました】

南会津町議会の最初の定例会（平成18年第1回）からの会議録を、インターネットで閲覧できるようになりましたので、ご覧ください。

※平成30年第3回定例会の会議録は、作成中につき、完成次第掲載します。

南会津町議会議録

検索



滝原区で開催

日時	10月6日(土) 午後6時30分から
会場	滝原林業研修センター
参加者	区長ほか18人
出席議員	楠 正次・丸山陽子・室井英雄 湯田良一・室井嘉吉・五十嵐司
質疑事項	①たかつえスキー場の評価の方法は。 ②特急リバティの効果は。 ③議員の報酬が上がる理由は。
要望・意見	①スキー場に一万本の桜を植えては。 ②教育から地元に残るよう育ててほしい。 ③滝原区にも鳥獣対策の駆除隊がほしい。



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。

なお、いただいた意見や要望は所管委員会で調査し、結果を区長宛に回答します。

【議会報告会を開催しませんか】

行政区長や各種団体などの代表者を通して、議会議員または議会事務局へご連絡ください。その際に、開催希望日などがあれば、併せてお知らせください。

開催時期は、定例会終了後、概ね1カ月半以内で、1回の開催時間は2時間程度です。

【表紙の紹介】

暁の星幼稚園



暁の星幼稚園の保育目標は、「自然環境を楽しみながら、みんなと関わる喜びを知り、優しい心と感謝する心を育む」ことを教育目標に、子どもたちが『やるっ子』『やさしいっ子』になることを目指して日々の活動を行っている幼稚園です。

子どもたちは自然と一体になって活動し、花や木、昆虫とふれあい、明るく元気に育っています。



砂遊びも楽しくやっています



みんな仲良く集合写真！

町民の声

南会津町へU・Iターンしてきた方へ、移住されたきっかけや町の魅力をインタビューしました。



左から湯田 浩和さん(34)、浩登くん(5)、

ひかりちゃん(3)、晴子さん(33)、さきちゃん(6カ月)

浩和さんは奥さんと子ども3人のほか、両親と祖母の8人暮らしです。

南会津町へUターンし、味噌作りや農産物の加工を行っており、現在8年目とのことです。

Q 南会津町に来られるまではどちらで何の仕事をしていましたか？

浩和さん 三菱重工業に

就職し、横浜を拠点に国内外で発電プラントの仕事をしていました。

Q Uターンのきっかけを教えてください。

浩和さん 海外出張中に祖父が亡くなったことがきっかけです。

Q 実家に帰ることになりましたか？

浩和さん 当時は26歳と

若かったので期待感が強かったです。

Q 南会津町の魅力は何ですか？

浩和さん 何とんでも

自分が生まれ育ったところであり、周りに家族や知り合いがいることです。

Q 今後の目標は？

浩和さん 経営の充実と

拡大を目指し、将来的には地元の若者を雇用できるような頑張りたいと考えています。

Q 町行政に何か求めるとはありますか？

浩和さん 「自分でやるこ

と」が基本であり、行政には「やること」に協力や支援をしていただきたいと思っています。

自分は8人家族ですが、こうした大家族にスポットをあてた施策があってもよいのではと考えます。

Q 若者定着についてどう思いますか？

浩和さん 学卒後、すぐに

地元に戻れる考えが先行しやすいですが、私は一度は外に出て刺激を受けることが必要だと思っています。

大切なのは、いつでも戻ってこられる場所を、私たち一人一人が作れるように努めることだと思っています。

平成30年第4回定例会 12月7日(金)開会予定 傍聴してみませんか

議会を傍聴する手続きは簡単です。
本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書くだけです。
傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。

9月定例会傍聴のようす



【発行】福島県南会津町議会 【編集】議会広報委員会 【印刷】馬場印刷所
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3531-1 TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-1288

【ホームページ】<http://www.minamiaizu.org/gikai/>